

# Ⅲ. 山形大学独自の取組

## ① 男女共同参画行動計画と推進組織

### ①-1 | 目的・基本計画・平成29年度具体的施策（行動計画）

#### ●目的

山形大学は、「男女共同参画基本法」（平成11年6月23日法律第78号）の理念に基づき、男女共同参画社会実現のために大学が担うべき役割と責任を自覚し、「山形大学男女共同参画推進宣言（平成21年1月23日）」を策定した。本学の学生及び教職員が性別にかかわらず、あらゆる活動において個性と能力を発揮でき、かつ、学業・仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を実現することを目指し、具体的な施策の推進を図っていくため、ここに山形大学男女共同参画基本計画（以下「基本計画」という。）を定める。

#### ●基本計画

基本理念の具体化に向けて、本学の基本方針を次のとおり定める。

- 1 教職員（教員及び職員）等の男女機会均等の実現・格差の是正
- 2 教育・研究及び就労と家庭生活との両立のための環境作り
- 3 男女共同参画に関する意見・要望等をくみ上げるシステムの整備
- 4 男女共同参画への意識改革への促進
- 5 女性研究者（教員及び後期博士課程学生）の裾野拡大
- 6 男女共同参画推進のための教育・研究の実現
- 7 男女共同参画に関する学内の調査・分析・統計等の情報提供
- 8 男女共同参画に取り組む地域社会との連携

#### ●平成29年度具体的施策（行動計画）

##### 【教職員等の男女機会均等の実現・格差の是正】

##### 1 女性教員比率の向上

##### 全学

- ・雇用機会均等法によると女性の割合が4割を下回っている場合、男女格差が存在していると判断される。本学においても女性教員比率を引き上げるとともに、格差の是正に努める。
- ・女性教員の採用比率を当面、全体として20%（「国立大学協会」の提言）以上とすることを目標とする。

- ・将来的には、女性教員の比率を25%まで引き上げる。
- ・上記の目標を達成するため、必要な改善措置等を男女共同参画推進室を中心に各学部等においても具体的に検討し、その達成状況を毎年点検する。

## 人文社会科学部

- ・教員公募では、引き続き、男女共同参画社会基本法の趣旨を積極的に実現することを教員募集要項に記載する。
- ・学部の女性教員の比率については現状の水準以上の値を実現できるようにつとめ、31年度には「国立大学協会」の提言である20%に近づけることを目指す。
- ・会議を効率的・効果的に運営する取り組みを継続的に実施するなど、ワークライフバランスを充実させるための環境を整備する。

## 地域教育文化学部

- ・女性教員比率を20%にあげるため、学部ホームページ・マスメディア等を通じて本学部女性教員の活躍を積極的に広報する。
- ・女性研究者の研究環境整備のための活動としてサバティカル制度を初めとする支援体制を充実させるとともに、これらの周知を図る。

## 理学部

- ・ポジティブ・アクションを実施し、女性教員により一層積極的な活躍の機会を作り出す。
- ・教員公募要領に男女雇用機会均等法等実施の取り組みを明確に記載する。
- ・理学部関連学会における「男女共同参画支援事業」の情報収集を続ける。
- ・公募等における業績評価で、育児や介護期間を考慮することを明記する。

## 医学部

- ・女性教員の比率20%以上を維持する。
- ・24時間保育所、病児保育室の円滑な運営を通して、女性が働き続けられる環境の整備を行う。

## 工学部

- ・引き続き、教員公募にあたっては、雇用機会均等法第8条に配慮している旨を公募要項に明記するとともに、女性教員限定公募についても積極的に実施する。
- ・毎年女性教員1人以上の採用を目指す。また、公募の際は、年齢バランスと学科バランスも考慮に入れる。
- ・運営会議を中心に以下のリクルートを実施する。
  1. 学会・職務上の人的ネットワークを使って女性教員の候補者を捜す事
  2. そのための工夫や情報交換を定期的に行う事
  3. 他の教員の女性教員の必要性に対する意識改革の方策検討と行動

## 農学部

- ・女性研究者が多い分野を中心に、応募者を女性に限定した人事について検討する。
- ・第3期中期目標、中期計画における女性教員比率の全体目標（17%）に近づけるよう努力する。

## 学士課程基盤教育機構

- ・転出・異動等で男性教員が減少したことにより29年度の女性教員比率は42.9%（6人／14人）となったが、補充人事がある場合は女性教員の採用を視野に入れる。

## 附属学校

- ・平成29年度以降については、教員の採用に当たって、将来的な目標比率の達成を考慮して、引き続き県教育委員会等と協議する。
- ・附属学校運営部が中心となって、勤務時間の適正化と女性教員の出産育児等に対応できる職場環境を整えるため、具体的な業務改善に向けた取り組みを実施する。

## 2 大学（学部）運営における女性参画の拡大 全学

- ・女性職員の人材育成のため、積極的な方策を推進する。
- ・女性教職員の管理職比率の向上のため、登用等を積極的に推進する。

## 人文社会科学部

- ・男女共同参画推進部との連携を強化する。
- ・平成31年度までに学部長・副学部長・目標評価委員に占める女性教員の比率を現状よりも増やす。
- ・学部運営や学生の勉学環境に関する重要事項の決定に女性教職員の意見や視点が取り入れられるしくみを構築する。

## 地域教育文化学部

- ・引き続き、学長・学部長と女性教職員との懇談会を実施し、女性教職員の要望や抱える問題等を明確化し、交流を図る。
- ・男女共同参画推進室のホームページやメールマガジン、ニュースレターを使って情報の周知を図る。
- ・学部ホームページや広報誌「Creation」に活動状況を掲載し、学内外への情報発信を強化する。
- ・メンター制度の積極的な活用を行うため、制度の周知と工夫を図る。

## 理学部

- ・当該委員会委員、キャリア教育担当教員、女性研究者及び一般男性教員も男女共同参画推進室主催のランチミーティング、セミナー等に積極的に参加し、女性参画事業の理解を深めるようにする。
- ・学部の女性教員がそれぞれ、大学、学部、学科の重要な委員を担当する。

## 医学部

- ・性別による優遇措置はとらないが、管理職として適切な人材を登用することにより、積極的に女性教員の活用を図っていく。副学部長は女性を含む体制を堅持する。

## 工学部

- ・講演会等を実施することによって、雇用機会均等法の周知徹底を行う。
- ・運営会議において定期的に女性教員の意見聴取を行い、学部運営に反映させる。
- ・女性教員の「女性教員としての人材育成」のため、新任5年以内の教員（企業出身、博士課程出身者）に対するメンター制度の導入を図る。メンターとなってくれる教員や外部の適当な人物を組織し、女性教員が希望した時にはいつでも相談が受けられる体制づくりを行う。
- ・ピア・メンターを活用するため、女性教員および若い女性研究者の卵たちによる座談会を定期的に関く。

## 農学部

- ・女性職員と女性教員を合わせた女性教職員の人材育成を、長期的な計画のもとで継続的に行う。
- ・鶴岡キャンパス保育所の設置を検討し、更に女性が活躍できる環境を整備するよう努力する。

## 学士課程基盤教育機構

- ・引き続き、世代間の役割分担、ワーク・ライフ・バランスに配慮しつつ、全学委員会や基盤教育のディレクター・サブディレクター等への女性教員の積極的登用を図っていく。

## 附属学校

- ・平成29年度以降も、女性職員の人材育成に努め、係長以上への登用も積極的に進める。
- ・校長・教頭への女性教員の登用について、山形県教育委員会と連携協力して推進する。

## 【男女共同参画への意識改革の促進】

### 全学

- ・シンポジウムや啓発セミナー、男女共同参画フェスタ等を定期的に開催する。
- ・女性研究者ネットワークを構築し、定期的な勉強会等を開催する。
- ・学長・学部長と女性研究者との懇談会を定期的に開催する。
- ・ホームページ、男女共同参画ニューズレター、メールマガジン等による学内外への情報発信を強化する。

## 人文社会科学部

- ・引き続き、学部内で男女共同参画に関する問題意識を共有できるようにつとめる。会議等での決定事項が男女共同参画の視点からみて適切であるかどうかを考慮するほか、女性教職員の視点を

入れて男性だけでは見落としがちであった事項を配慮できるような体制を確立するとともに、その体制について検証を継続的に行う。

## 地域教育文化学部

- ・シンポジウムや啓発セミナー、男女共同参画フェスタ等を定期的で開催する。
- ・学長・学部長と女性研究者との懇談会を定期的で開催する。
- ・ホームページ、オープンキャンパス、ホームカミング等による学内外への情報発信を強化する。

## 理学部

- ・男女共同参画事業に積極的に参加する。
- ・「学長・学部長と女性研究者との懇談会」等を積極的に支援する。
- ・育休について正確な情報を提供する等、議論を深め「育休取得希望者」を支援する。

## 医学部

- ・医学部学生を対象にしたキャリアパスセミナーにおいて、男女共同参画に関する内容を更に充実させる。
- ・山形県、山形県医師会、女性医師ネットワークと緊密な連携をとり、男女両者が参加できる男女共同参画の企画を進める。
- ・総合医学教育センター、高度医療人研修センターが中心となって女性医師・看護師が切れ目なく働き続けられるよう援助する。

## 工学部

- ・男女共同参画推進ワーキング・グループを強化し、研修会やイベントなどを主催できるように努める。
- ・運営会議を中心に、すべてのマイノリティが働きやすいキャンパス、学びやすいキャンパスを目指すための組織化を図る。
- ・男女共同参画推進室の企画事業への職員参加を推進する。

## 農学部

- ・男女共同参画推進委員会および男女共同参画推進室の指導の下に、農学部の委員が中心となり、29～31年度においても継続して、各部局の推進組織とも緊密に連携協力しながら具体的な事業を推進する。
- ・引き続き、ワークライフバランス懇談会を実施し、男性教職員の積極的な参加を呼びかけ、女性だけでなく男性教職員の意識改革も併せて図っていく。

## 学士課程基盤教育機構

- ・教育企画部の企画による啓発セミナー開催を検討する。
  - ※留学生を講師に迎えた講演「子どもを連れて山大留学」等のテーマを検討する。
- ・キャンパス・ハラスメント防止対策委員会主催研修会等においてセクシャルハラスメント等関連事例を取り上げる。
- ・引き続きワーク・ライフ・バランス懇談会を開催する。

## 附属学校

- ・全学で企画するシンポジウム、啓発セミナー及び男女共同参画フェスタ等を周知して参加を促すとともに、平成29年度に附属学校における合同研修会などでテーマとして取り上げ、実施する。

## 小白川キャンパス事務部

- ・引き続き、全学で企画するシンポジウムや啓発セミナー、男女共同参画フェスタ等に参加を希望する職員が参加できるよう、迅速な情報発信を実施する。
- ・山形大学女性みらい塾の活動を広く周知・情報共有を図り、職員の意識改革の推進に努める。

## 【女性研究者の裾野拡大】

### 全学

- ・専門分野を活かした職業に就いている女性卒業生等を招いた講演会や交流会を、各学部等で定期的に開催する。
- ・女子中高生向けのセミナー等を開催する。

## 人文社会科学部

- ・引き続き、男女共同参画に特に力点を置いた副学部長を選任し、強力で推進する体制を確立する。その執行体制のもと、高校への出前講義などに女性教職員に携わってもらうことで、女子高校生に女性研究者の活躍を身近に感じてもらい、将来の大学進学における選択肢として研究職を選んでもらう努力を継続的に進める。
- ・高校の探求型授業の企画に女性教員が参加できるようにする。
- ・女性研究者、企業、官庁、教育界で活躍している女性の卒業生を招き、女子高校生・学部生・一般市民に向けての講演会などを開催し、人文学の専門分野を活かした職業について広く周知する。

## 地域教育文化学部

- ・引き続き、オープンキャンパスの際に行う授業や出前授業の際に、女性教員が参加して専門分野で活躍する姿を高校生に話してもらい、本学部の魅力を伝えていく。
- ・オープンキャンパス及びホームカミングの際に、出産・子育て世代の女性及び男性教職員の姿をパネル展示する。
- ・高校生を対象とした女性研究者による模擬授業やアカデミックキャンプ等を実施する。

## 理学部

- ・専門分野を活かした職業に就く女性卒業生等を招き、講演会や交流会を開催する。
- ・女子中高生向けのセミナー等を開催する。
- ・上記の他、女性研究者によるセミナー等を開催する。

## 医学部

- ・27年度までの事業をさらに充実させる。
- ・24時間保育、病児保育など子育てと研究が両立する環境を生かし、多くの研究者等を受け入れる。

## 工学部

- ・若手研究者の育成を目指し、女子学生と各世代の女性研究者とが触れ合う場を定期的に設ける。
- ・中学・高校に積極的に女子学生を連れて出前講義などに何う事を推奨する。
- ・広報活動においても、男女共同参画推進を強調する。

## 農学部

- ・女性研究者育成のための講演会を継続して実施し、女子学生の進学率の向上に努める。
- ・女子高生に科学実験の体験指導を継続的に行い、農学部系への進学率向上に努める。

## 学士課程基盤教育機構

- ・「キャリア形成とワーク・ライフ・バランス」の講師を山本陽史教授がつとめる（女性教員が一巡したので男性教員を選出）。
- ・フィールドワーク等の授業に、県立博物館、教育委員会等で専門を生かして活躍している女性卒業生らを招聘、交流を図る。
- ・留学生懇談会に、講師として日本で働く留学生OGや研究する留学生OGを招く。

## 附属学校

- ・大学で実施される講演会や交流会に積極的に参加・協力できるようにする。
- ・女子中学生を対象とするセミナー等については、附属中学校で企画立案し、周知する。

## ①-2 | 男女共同参画推進委員会委員名簿と委員会議事

平成29年4月1日現在

委員名	氏名	備考
第1号委員	阿部宏慈	委員長
	久保田 功	
第2号委員	河野銀子	
第3号委員	高橋 和	
	三上英司	
	脇 克志	
	小林 淳子	
	落合文吾	
	村山秀樹	
第4号委員	コーエンス久美子	
	大森 桂	
	天羽 優子	
	鈴木匡子	
	柊 紫乃	
井上奈穂		
第5号委員	渡辺 絵理子	
第6号委員	矢作 清	
第7号委員	高橋 正敏	
第8号委員	富 樫 整	

【参考】①第1号委員：学長が指名する理事

②第2号委員：担当理事が指名する理事特別補佐

③第3号委員：各学部長が推薦する当該学部の副学部長 各1人

④第4号委員：各学部から選出された（女性）教員 各1人

⑤第5号委員：学士課程基盤教育機構から選出された（女性）教員 1人

⑥第6号委員：総務部長

⑦第7号委員：企画部長

⑧第8号委員：その他委員長が必要と認めた者

⑨第4号及び第5号委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

## 第15回男女共同参画推進委員会議事

平成29年5月15日（月）15:00～16:00

小白川キャンパス事務局棟3階 第1会議室（医・工・農学部は各TV会議室）

## I 協議事項

1 平成29年度事業計画（ダイバーシティ事業を含む）について

- (1) 管理職セミナー
- (2) 理工系英語論文セミナー
- (3) 連携機関による事業企画について
- (4) 男女共同参画フェスタの開催について



- 2 「男女共同参画基本計画」に関する年度評価及び計画立案について
  - (1) 各部局
  - (2) ダイバーシティ事業を含む今後の計画
- 3 企業連携による保育事業（企業主導型保育事業申請）について
- 4 その他

## II 報告事項

- 1 平成29年度山形大学男女共同参画推進委員会委員名簿・室員名簿
- 2 各部局の女性教員数の状況
- 3 平成29年度ダイバーシティ事業の支援制度について
  - (1) 研究支援員制度
  - (2) 女性代表共同研究費支援制度
  - (3) 夜間、休日、病児・病後児、学童保育利用補助制度
  - (4) ライフイベントからの復帰支援制度
  - (5) 相談員制度
  - (6) メンター制度
  - (7) 託児サポーター制度
  - (8) 外部評価委員会
- 4 平成29年度山形大学独自の支援制度について
  - (1) キャンパス保育所の状況
  - (2) 学会参加時の保育支援制度
  - (3) ノートパソコンの貸出
- 5 各学部等での開催事業について
  - (1) 平成29年度「学長・学部長とのWLB懇談会」
  - (2) 平成29年度女性研究者裾野拡大セミナー（理系学部）企画募集
- 6 男女共同参画図書コーナー（小白川・米沢）について
- 7 平成29年度基盤教育「キャリア形成とワーク・ライフ・バランス」

### 第16回男女共同参画推進委員会（持ち回り会議）議事

平成29年11月10日（金）

1. 男女共同参画推進委員会関係規程の時限到来に基づく見直し（案）について
  - ・山形大学男女共同参画推進に関する規程
  - ・山形大学男女共同参画推進米沢分室規程
  - ・山形大学ダイバーシティ連携推進会議規程
  - ・ダイバーシティ事業に関する外部評価委員会規程

## ①-3 | 男女共同参画推進室員名簿と室ミーティング議事

平成29年4月1日現在

室 員	氏 名	備 考
室 長	阿 部 宏 慈	理事（総務担当）
副 室 長	久保田 功	理事（研究担当）
理 事 特 別 補 佐	河 野 銀 子	教授（地域教育文化学部担当）
主担当教員(チーフ・コーディネーター)	井 上 榮 子	准教授（男女共同参画推進室担当）
室 員	矢 作 清	総務部長
室 員	池 野 尚 美	総務部人事課長
室 員	鈴 木 俊 之	総務部人事課副課長（労務担当）
室 員	篠 塚 清 幸	企画部研究支援課副課長
室 員	細 谷 美千枝	男女共同参画推進室事務室長

## 第1回男女共同参画推進室ミーティング

平成29年4月14日（金）13：30～14：30

小白川キャンパス事務局打合せ室4（2階）

## I 室員・室スタッフ紹介

## II 打合せ事項

- 1 平成29年度事業計画（ダイバーシティ事業を含む）について
  - (1) 管理職セミナー
  - (2) 理工系英語論文セミナー
  - (3) 連携機関による事業企画について
    - ①外部資金獲得セミナー
    - ②女性研究者成果発表会
    - ③交換留学プログラム
    - ④自己啓発合宿
    - ⑤サービス・デザイン・ワークショップ
- 2 「男女共同参画基本計画」に関する年度評価及び計画の見直しについて
- 3 男女共同参画フェスタ（パネル展等）の開催について
- 4 ダイバーシティ事業の今後について

## III 報告事項

- 1 平成29年度山形大学男女共同参画推進委員会委員名簿・室員名簿
- 2 各部局の女性教員数の状況
- 3 平成29年度ダイバーシティ事業について
  - (1) 研究支援員制度
  - (2) 女性代表共同研究費支援制度

- (3) 夜間、休日、病児・病後児、学童保育利用補助制度
  - (4) ライフイベントからの復帰支援制度
  - (5) 巡回相談員制度
  - (6) メンター制度
  - (7) 託児サポーター制度
  - (8) 外部評価委員会
- 4 平成29年度山形大学独自の支援制度について
- (1) キャンパス保育所設置
    - ① 小白川キャンパス保育所・医学部保育所・医学部病児保育室の状況
    - ② 企業主導型保育事業による保育所設置に係る検討について
  - (2) 学会参加時の保育支援制度
  - (3) ノートパソコンの貸出
- 5 各学部等での開催事業について
- (1) 平成29年度「学長・学部長とのWLB懇談会」
  - (2) 平成29年度女性研究者裾野拡大セミナー（理系学部）企画募集
- 6 男女共同参画図書コーナー（小白川・米沢）について
- 7 平成29年度基盤教育「キャリア形成とワーク・ライフ・バランス（ウーマン・オブ・ヤマガタ）」講師について

## ①-4 | 男女共同参画推進室米沢分室員名簿と分室ミーティング議事

平成29年9月1日現在

室 員	氏 名	備 考
分 室 長	阿 部 宏 慈	理事（総務担当）
副 分 室 長	飯 塚 博	工学部長
主担当教員（チーフ・コーディネーター）	井 上 榮 子	男女共同参画推進室准教授
主担当教員（サブ・コーディネーター）	小 林 直 美	男女共同参画推進室助教
主担当教員（サブ・コーディネーター）	劉 楠	男女共同参画推進室助教
副 担 当 教 員	野々村 美 宗	工学部副学部長
副 担 当 教 員	柊 紫 乃	大学院理工学研究科准教授
副 担 当 教 員	皆 川 真 規	大学院理工学研究科助教
室 員	齋 藤 賀 久	工学部事務部長
室 員	長 南 靖	工学部総務課長
室 員	綿 貫 藤 雄	米沢分室事務室長

## 第5回男女共同参画推進室米沢分室会議

平成29年11月21日（火）13：30～14：30

工学部事務棟1階ミーティングルーム

## I 打合せ事項

- 1 JST中間評価ヒアリング（11／1面接審査）について
- 2 3機関合同シンポジウムの開催（12／4）について
- 3 今後のダイバーシティ事業（COIとの連携）について
- 4 その他

## 第6回男女共同参画推進室米沢分室会議

平成30年3月8日（木）13：30～15：00

工学部事務棟2階ミーティングルーム

## I 報告事項

- 1 平成29年度工学部の女性研究者採用状況について
- 2 平成29年度ダイバーシティ事業の進捗状況について
- 3 その他

## II 打合せ事項

- 1 平成30年度米沢分室体制について
- 2 平成30年度以降のダイバーシティ事業について
  - (1) 男女共同参画推進室米沢分室の運営体制について
  - (2) 平成30年度事業計画について
  - (3) COIと連携した「地域連携プラットフォーム」設立について
- 3 その他

## ①-5 | 男女共同参画推進室活動記録

- 4月3日 相談事業の開始
- 4月5日 「女性研究者メンター制度」利用者の募集開始
- 4月14日 第1回男女共同参画推進室ミーティング
- 4月19日 メールマガジン「ぱれっと通信（第61号）」配信
- 5月15日 男女共同参画推進委員会の開催
- 5月19日 小白川キャンパス保育所運営委員会の開催
- 5月23日 メールマガジン「ぱれっと通信（第62号）」配信
- 5月26日 託児サポーター制度（学童一時預かり）の募集開始
- 5月26日 学会参加時の保育支援制度利用者の募集開始  
ノートパソコン貸出利用者の募集開始
- 6月20日 メールマガジン「ぱれっと通信（第63号）」配信
- 6月21日～山形大学男女共同参画フェスタ（パネル展・図書展）の開催
- 6月28日 山形大学小白川キャンパスで男女共同参画フェスタ（管理職セミナー）開催
- 7月7日～山形大学米沢キャンパスで男女共同参画フェスタ（パネル展）開催
- 7月10日 国立大学における男女共同参画の推進に関する調査（第14回）の回答
- 7月19日 メールマガジン「ぱれっと通信（第64号）」配信
- 7月25日 山形大学男女共同参画推進室ニューズレター（第21号）の発行
- 7月30日 農学部・女性研究者裾野拡大セミナー「農学部ってどんなところ？女性研究者ってどんなひと？」の開催
- 8月2日 平成29年度・後期「研究支援員制度」利用者の募集開始
- 8月21日 メールマガジン「ぱれっと通信（第65号）」配信
- 8月28日 理学部・女性研究者裾野拡大セミナー「理学部で何ができるのか？～女子高校生のための山大理学部案内～」の開催
- 9月6日 小白川キャンパス（地域教育）・学長、学部長と教職員等とのワーク・ライフ・バランス懇談会の開催
- 9月22日 メールマガジン「ぱれっと通信（第66号）」配信
- 10月23日 小白川キャンパス保育所運営委員会の開催
- 10月24日 メールマガジン「ぱれっと通信（第67号）」配信
- 11月8日 山形銀行と企業主導型保育所の設置・運営に関する連携協定書調印式
- 11月20日 農学部・学長、学部長と教職員等とのワーク・ライフ・バランス懇談会の開催
- 11月22日 メールマガジン「ぱれっと通信（第68号）」配信
- 12月6日 小白川キャンパス（人文・理・基盤教育）・学長・学部長と教職員等とのワーク・ライフ・バランス懇談会の開催
- 12月15日 「山形大学男女共同基本計画」に関する年度評価及び計画についての各部局への依頼
- 12月16日 理学部・女性研究者裾野拡大セミナー「理学部の研究室を覗いてみよう！」の開催
- 12月20日 メールマガジン「ぱれっと通信（第69号）」配信

- 12月22日 工学部・学長、学部長と教職員等とのワーク・ライフ・バランス懇談会の開催
- 1月13日 大学入試センター試験（小白川キャンパス保育所開所）
- 1月14日 大学入試センター試験（小白川キャンパス保育所開所）
- 1月16日 平成30年度・前期「研究支援員制度」利用者の募集開始
- 1月17日 メールマガジン「ぱれっと通信（第70号）」配信
- 2月15日 平成30年度・前期「研究支援制度」利用者の決定
- 2月16日 山形大学男女共同参画推進室ニュースレター（第22号）の発行
- 2月22日 メールマガジン「ぱれっと通信（第71号）」配信
- 2月25日 前期日程個別学力検査等（小白川キャンパス保育所開所）
- 3月16日 荘内銀行と保育所利用に関する連携協定調印式（農学部）
- 3月23日 メールマガジン「ぱれっと通信（第72号）」配信
- 3月30日 平成29年度男女共同参画推進室報告書の発行

## ② 活動報告

### ②-1 | 意識改革

#### (1) 学長・学部長と教職員等とのワーク・ライフ・バランス懇談会

山形大学では、ワーク・ライフ・バランスについて、教職員等から意見を聴き、その実現に向けて様々な支援制度を検討し実施してきた。

平成29年度の懇談会の実施状況は、次のとおりである。

学部名	テーマ	日時	対象者	参加数
小白川キャンパス (人文・理・基盤教育)	WLBから見たイクボスの取り組みについて	12月6日(水) 14:40~16:00	男女教職員	約100人
	山形県の「やまがた企業イクボス同盟」に加盟している企業から講師を迎えて、取組事例の紹介を行った。講演後には参加者による意見交換を行った。			
小白川キャンパス (地域教育文化学部)	子育て世代の職場環境～男女が活躍できる社会とは～	9月6日(水) 11:50~13:00	男女教職員	19人
	子育ての実情や両立の工夫などに関して参加者から報告があり、意見交換を行った。職場環境が改善されたという意見があった一方、介護の不安や仕事を減らすことなど、今後の課題も確認された。			
工学部	男性比率が多い米沢キャンパスでの男女共同参画－女性・男性、職員・学生が尊重し合いながら、楽しく・安心して過ごせるキャンパスの実現を目指して－	12月22日(金) 16:00~17:00	男女教職員	20人
	男女共同参画推進室米沢分室、女性研究者、学生相談室からの話題提供の後、それぞれの立場から男女共同参画について感じていることについて意見交換を行った。「大学全体で互いに尊重しあう意識を伝える機会が必要だ。」「ダイバーシティ事業が始まってから、女性教員が働きやすい環境は整ってきた。」などの感想が寄せられました。			
農学部	働きやすい職場環境を実現するためのワークライフバランス	11月20日(月) 15:30~16:30	男女教職員	16人
	研究、教育、日常業務で日頃感じていることに関して意見交換を行った。職場の雰囲気、仕事を頼める仲間、コミュニケーションなどが大切だという意見が出された。「チームでする仕事」という観点から、仕事分担を検討してみることが確認された。			



図1 懇談会の様子(12月6日)



図2 懇談会の様子(9月6日)

## (2) 男女共同参画フェスタ

例年6月に開催される内閣府の「男女共同参画週間」に合わせて、山形大学でも男女共同参画フェスタを開催している。今年度は、前回に引き続き、ダイバーシティ環境実現の一環としてLGBT（性的少数者）への理解を促すことを目的としたパネル展を開催した。また、男女共同参画に関する図書の展示も併せて開催した。

【日時】 小白川 平成29年6月21日（水）から6月30日（金）  
米 沢 平成29年7月7日（金）から7月14日（金）

### 【場所】

＜パネル展示＞ 小白川 学生会館1階、小白川図書館、インフォメーションセンター  
米 沢 4号館1階 大示範教室前廊下周辺

＜図 書 展＞ 小白川図書館1階（小白川のみ開催）

【内容】 パネル展示LGBTに関するポスター展示、山形大学の取り組みの紹介、  
ダイバーシティ事業の紹介、女性研究者シーズの紹介

### 【参加者の感想】

- ・ 山大の女性研究者がこんなにもいるということ、こんな研究やこんな取り組みをしているということが分かって、とても良いと思う。またLGBTなど社会問題となっていることについても進んで前向きに取り組んでいて、山大の活動をとてもよいと思った。
- ・ 企業でも対策が遅れがちな問題に早期に取り組んでいることに感心した。

**パネル展示**

- ・ LGBTに関すること
- ・ 山形大学の取り組み
- Etc...

場所：(小白川)  
・ 学生会館1階、小白川図書館  
・ インフォメーションセンター

(米沢)  
・ 4号館1階  
大示範教室前廊下周辺

**図書展**

- 男女共同参画に関連する図書も常設しています。

場所：・ 小白川図書館1階  
・ 工学部米沢図書館

山形大学

お気軽にお立ち寄りください

～誰もが尊重され、個性と能力が生かされる大学をめざして～

**男女共同参画フェスタ**  
2017年

小白川 6/21(水)～30(金)  
米沢 7/7(金)～14(金)

内閣府の男女共同参画週間にあわせて開催しています

問合せ  
窓口

(小白川)山形大学男女共同参画推進室  
TEL 023-628-4937・4939  
Email y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

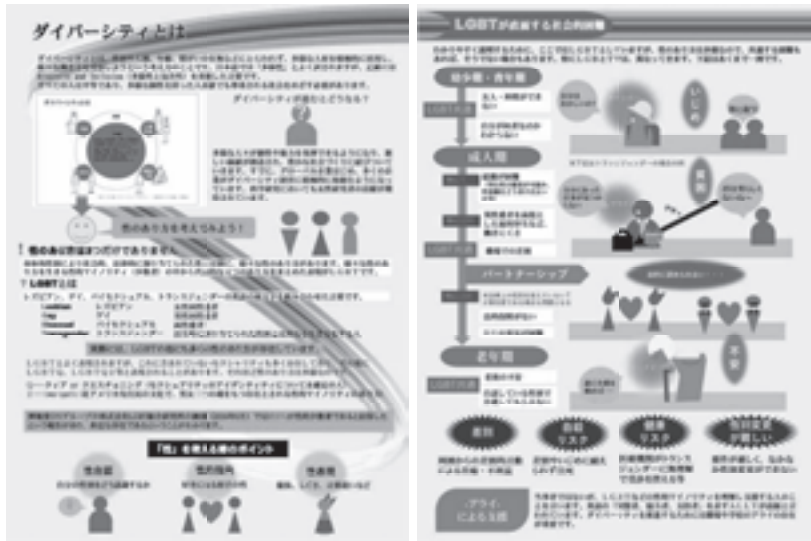
(米沢)山形大学男女共同参画推進室米沢分室  
TEL 0238-26-3356・3359  
Email y-danjoyz@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

図1 チラシ



# 男女共同参画フェスタ2017 ～LGBTについて考える～(ポスター展示)

小白川:6/21(水)～30(金)  
米沢:7/7(金)～14(金)



学内の相談窓口を下記のとおり開設しました。  
ダイバーシティの視点から理解を深めていきましょう。

## 国の取組み

### ◆「国家公務員人事管理指針」の改正

2017年、LGBTへの差別をなくす取組みが大企業を中心に広がっていることから、国家公務員の人事管理指針に、「性的指向や性自認に関する不当な差別」に関する配慮について明記しました。

### ◆自殺総合対策大綱の見直し

2012年の見直しにより性的マイノリティに関する対策も盛り込まれ、閣議決定されました。

### ◆「男女雇用機会均等法」の改正

2014年の改正では、性的マイノリティに対する差別的言動もセクハラであることが明記されました。2017年の改正では、性的指向、性自認によらず対象であることが明記されました。

### ◆2015年、文部科学省の通知「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」

性同一性障害の児童生徒への配慮や性的マイノリティ児童生徒への相談体制等の充実を図るよう全国の教育委員会などに通知されました。

### ◆いじめ防止基本方針の改定

2017年、「いじめ基本方針」にLGBT児童への対応も盛り込まれ、全国の教育委員会などに通知されました。

## 自治体の取組み

自治体では、2013年に大阪市淀川区が全国で初めて「淀川区LGBT支援宣言」を発表し、「レインボー、はじめました!」というキャッチーなフレーズが話題となりました。2015年には、東京都渋谷区が全国で初めて「同性パートナーシップ証明書」を発行する条例を制定しました。その後も複数の自治体がLGBT支援を進めています。

2015年沖縄県那覇市、2015年和歌山県橋本市、2016年岐阜県関市、2017年沖縄県浦添市

## 企業の取組み

### ◆2012年 LGBTに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体 work with Prideが発足

### ◆2016年 任意団体 work with PrideによるLGBTに対する企業等の取組みを評価するPRIDE指標の策定

### ◆2017年 日本経済団体連合会が「ダイバーシティ・インクルージョン社会の実現に向けて」LGBTの社員や顧客に対する差別の禁止や配慮を求める提言を発表

POINT!⇒2014年にオリンピック憲章にLGBTの人たちに対する差別を禁止する規定が盛り込まれたことを受け、2020年の東京五輪に向けて、大会に関係する物品やサービスを提供するすべての企業に対し、LGBTの人たちへの差別を禁止するルールが初めて定められました。これにより、企業のLGBT施策が加速する可能性があると言われています。

\*性的マイノリティに関する相談 ジェンダー・セクシュアリティに関すること、ハラスメントに関すること、カミングアウトに関することなど

〔窓口〕

山形大学男女共同参画推進室 Tel: 023-628-4937 E Mail: y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

保健管理センター Tel: 023-628-4154 E Mail: nsroom@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

図2 NEWS LETTER 第21号より男女参画フェスタの記事

## ②-2 | 仕事と育児等との両立支援

### （1）小白川キャンパス保育所のびのび

#### ●概要

1	所在地	山形市小白川町一丁目3-10
2	利用対象者	山形大学に在籍する教職員、学生が養育する産後休暇明けから小学校就学の始期に達するまでの子どもを対象とする。また、入所定員に余裕があるときは、定員の2割の範囲内で、山形市在住の山形大学関係者以外の子どもも入所可能。（待機児童も含む。） 一時保育は、山形大学に在籍する教職員、学生が養育する生後6ヵ月から小学校就学の始期に達するまでの子どもが対象。
3	利用定員	30人（0～1歳児：15人、2歳児以上：15人）
4	保育時間	基本保育：7時30分から18時30分 延長保育：18時30分から20時30分まで 一時保育：7時30分から20時30分までの間 大学入試センター試験等の休日保育 7時30分から20時30分まで その他本学が保育を必要と認める時間
5	休所日	（1）土曜日、日曜日（ただし、大学入試センター試験及び個別学力検査等が実施される土曜日及び日曜日は除く。）、祝日 （2）12月29日から1月3日まで、その他山形大学が特に定める日
6	保育料 （1人あたり）	基本保育 3歳未満 45,000円/月、3歳以上30,000円/月 延長保育 1時間300円 一時保育及び入試センター試験日 2時間500円
7	運営形態	児童福祉法の認可外保育施設とし、運営は民間委託
8	開所時期	平成26年4月1日

#### ●利用状況

<基本保育 入所者数>

※3月1日時点での1ヶ月分の入所数

	0歳～1歳児	2歳児以上	計
平成28年3月	9人（3人）	8人（3人）	17人（6人）
平成29年3月	12人（4人）	11人（5人）	23人（9人）
平成30年3月	12人（4人）	12人（3人）	24人（7人）

（ ）は学外利用者の内数

#### ●教育研究への対応

保育所が大学の施設である関係から、保育所利用規程の目的に保育研究等に資する環境を整えることも含まれている。そのため、教育研究活動に関する取扱い要領を制定し、日常保育の中の可能な範囲で教育研究に対応している。

## (2) 医学部保育所すくすく

### ●概要

1	所在地	山形市飯田西二丁目2番地
2	利用対象者	山形大学医学部、山形大学医学部附属病院及び大学院医学系研究科職員が養育する産後休暇明けから小学校就学の始期に達するまでの子供を対象。 ただし、入所定員に余裕がある場合、終夜保育を除き、山形大学の他学部等所属職員及び学生の子供も対象とする。
3	利用定員	40人（0～1歳については、20人を上限とする。）
4	保育時間	基本保育：7時00分から18時30分 延長保育：6時00分7時00分 及び 18時30分から20時30分 終夜保育：18時30分から翌日の7時00分 一時保育：終日
5	休所日	12月29日から翌年の1月3日まで
6	保育料	基本保育 3歳未満 45,000円/月、3歳以上30,000円/月 延長保育 1時間につき 300円 終夜保育 1回につき 1,000円 一時保育 2時間につき 500円
7	運営形態	児童福祉法の認可外保育施設とし、運営は民間委託
8	開所時期	平成19年1月9日

### ●利用状況

<基本保育 入所者数>

	0歳～1歳児	2歳児以上	計
平成28年3月	13人	24人	37人
平成29年3月	12人	27人	39人
平成30年3月	3人	37人	40人

※3月1日時点での1ヶ月分の入所数

### (3) 医学部病児保育室

職員の子育て支援・福利厚生・職場環境の改善の一環として、平成29年1月4日に「山形大学医学部病児保育室」を開設した。

#### ●概要

1	所在地	山形市飯田西二丁目2番（山形大学医学部管理棟1階 正面玄関北側）
2	利用対象者	本学に所属する職員の子供（生後6か月から小学3年生までの子供で、急性感染症や慢性疾患に伴い、当面、症状の急変は認められないが、病気の回復に至っていないことから集団保育が困難で、かつ、保護者の勤務等の都合で家庭で保育を行うことが困難な子供）を対象とする
3	利用定員	3人（生後6か月から小学3年生まで）
4	利用日時	平日の7:30～18:00
5	休室日	土曜、日曜、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）のほか施設長が指定した日
6	利用料	保育料1日500円、半日（5時間未満）300円 昼食代（年齢、月齢に合わせた離乳食か幼児食等、補食（おやつ）を含む） 無償

#### ●利用状況

期間	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児以上	計
平成28年度（1月～3月）	0人	7人	7人	6人	20人
平成29年度（4月～1月）	20人	78人	55人	44人	197人

### (4) 託児サポーター制度（学童一時預かり）

仕事と育児の両立を可能にする環境整備の1つとして、平成21年12月1日に開始した制度であり、託児サポーター（研修を修了した学生）が保育士の指導のもとで保育を行う。一時預かりは、学校の長期休暇時や大学の試験などで業務が発生した場合などに実施する。

平成26年4月からは小白川キャンパス保育所が開所し、生後6か月から就学前の子どもの一時預かりは保育所で行うことができるため、小白川キャンパスにおいては本制度の利用は学童に限られる。預かり依頼のほとんどが未就学児童であるため、小白川キャンパスでは平成28・29年度の本制度の利用はない。保育所が設置されていない米沢キャンパスにおいては、平成28年度からダイバーシティ研究環境イニシアティブ事業の一環として、幼児を含む一時預かりを実施している。

<過去3年度分の利用者状況>

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用教職員数	3人	3人	10人
託児子ども数	4人	4人	15人
年間延べ利用回数	3回	3回	8回
年間延べ利用時間	11.5時間	15時間	36.75時間
託児サポーター数	なし	2人	7人

注1. 平成28年度からは米沢利用分を含む（小白川は利用なし）。

注2. 平成29年度利用実績は3月10日時点のもの。

## （5）研究支援員制度・学会参加時の保育支援制度

### ①研究支援員制度

出産、育児、介護等により十分な研究時間を確保することが困難な研究者に「研究支援員」を配置し、継続して研究を行うことができるような環境を提供する。

男性研究者も支援対象としてほしいという要望があり、平成26年度からは男性も対象としている。男性の申請が徐々に増えてきている。

<過去3年度分の利用者状況>

		利用者数	支援員数	支援時間数
平成27年度	前期	11人（1人）	15人	1,549時間
	後期	10人（3人）	10人	2,025時間
平成28年度	前期	11人（4人）	11人	2,362時間
	後期	14人（5人）	16人	2,920時間
平成29年度	前期	13人（3人）	13人	2,876時間
	後期	16人（4人）	16人	3,747時間

（ ）は男性利用者内数

### ②学会参加時の保育支援制度

平成24年4月より女性研究者の研究と育児の両立を支援するため、「学会出張時の保育支援制度」を実施した。教職員だけでなく博士後期課程学生も利用できることから、「学会参加時の保育支援制度」と名称を改めた。また、要望があった男性研究者についても、平成26年度から支援対象としている。今年度利用者は女性教員3名であった。

## (6) 巡回相談員制度

### (1) 概要

ワーク・ライフ・バランス推進に向けて、相談を希望する男女教職員、大学院生（博士前期課程を除く）及びポストドクターを対象とした巡回相談を実施した。

### (2) 延べ相談者数

平成30年3月9日時点

教員・職員別	教員	職員	その他	
女性	2人	なし	なし	
男性	1人	なし	2人	
キャンパス別	小白川：なし	飯田：なし	米沢：5人	鶴岡：なし

※ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業の巡回相談件数を含む。

### (3) 主な聞きとり内容

- ・物品の購入について、柔軟な対応をしてほしい。研究が進まず困っている。
- ・研究、業務など男女差があると感じている。性別によらず平等に活躍出来る機会を与えて頂きたい。
- ・子供が急病になった時の病児、病後児のサポート支援をしていただきたい。重要な会議、業務などが控えている場合に支障がでてしまう。
- ・研究以外の業務が増え、本来の研究、業務が出来ない状況になっている。
- ・学位論文の著者名を併記で提出したいが出来ないか。過去の事例などを聞きたい。



図1 制度の案内チラシ

## ②-3 | 女性研究者の裾野拡大

### (1) 女性研究者裾野拡大セミナー

#### 【農学部】

#### 「農学部ってどんなところ？女性研究者ってどんなひと？～」

日時：平成29年7月30日（日）

会場：農学部3号館202教室

講師：井上奈穂准教授（農学部）

参加人数：66名（女性62名、男性4名）

農学部オープンキャンパスの同日、女子高校生とその保護者を対象にセミナーを開催した。

井上奈穂准教授から、その1「農学部で学んだ女子学生の進路状況」、その2「講演者のこれまでの経歴・歩み、女性研究者紹介（なぜ農学部を選択したのかなど）」、その3「講演者の研究内容紹介『食品を科学する』」について講演があった。また、サンプルとして体にいい油を使ったサラダを試食しながら講演を聞くというスタイルが女子学生のみならず、保護者にも好評だった。

オープンキャンパスと同時開催のため、積極的な情報獲得や将来設計に意欲のある多くの女子高生の参加を得ることが出来た。参加者からは、「女性研究者の活躍がすごいのもわかった。ぜひ農学部に入りたいと思った」「農学部に進学しようと思ったきっかけが先生と同じで共感できた」など感想が寄せられた。農学部への興味、進学意欲を持つきっかけを作る意義のあるセミナーとなった。

The flyer is titled "女性研究者裾野拡大セミナー2017 in 農学部" (Women's Researcher Outreach Seminar 2017 in the Faculty of Agriculture). It features a dark background with white and yellow text. At the top left, it says "参加費 無料" (Free participation fee). The main title is "農学部ってどんなところ？女性研究者ってどんなひと？" (What is the Faculty of Agriculture like? What are women researchers like?). Below this, there is a small paragraph of introductory text. The event details are listed: "日時：平成29年7月30日(日) 11:00~12:00" (Date: July 30, 2017, 11:00-12:00), "場所：山形大学農学部 3号館202講義室" (Venue: Faculty of Agriculture, Building 3, Room 202), and "対象：「女子高校生」と「その保護者」" (Target: High school girls and their guardians). The speaker is "講演者：農学部准教授 井上 奈穂 先生" (Speaker: Associate Professor Naoko Inoue). There are three main topics: 1. "農学部で学んだ女子学生の最近の進路状況" (Recent career paths of female students who studied in the Faculty of Agriculture), 2. "講演者のこれまでの経歴・歩み、女性研究者紹介" (Speaker's career and introduction of women researchers), and 3. "研究内容紹介『食品を科学する』" (Introduction of research content 'Food Science'). There are also some smaller graphics, including a globe and a person working in a lab. At the bottom, there is contact information and a note about the seminar being supported by the faculty.

図1 チラシ



図2 体にいい油を使ったサラダ



図3 井上准教授の講義の様子

## 【理学部 PART 1】

## 「理学部で何ができるのか？女子高校生のための山大理学部案内」

日時：平成29年8月28日（月）

会場：理学部1号館11～14番講義室

講師：理学部の女子学生・女性研究者

参加人数：52名（女性52名、男性0名）

第1回セミナーでは理学部各学科の女子学生が、山形県立山形西高等学校の生徒を対象に、理学部の研究・教育内容を具体的に紹介した後、グループに分かれて懇談会を行い、理学部の女子学生・女子研究者の生の声を聞いていただきました。「理学部ではどのような教育・研究が行われているの？」「女性比率はどれくらい？」「卒業後はどのような職業に就くの？」「大学や就職先において男女差はあるの？」といった質問があがり、山形大学理学部に対する視野が広がり、認識が改まったなどの感想が寄せられた。



図4 挨拶をする協教授

## 【理学部 PART 2】

## 「理学部の研究室を覗いてみよう！」

日時：平成29年12月16日（土）

会場：理学部1号館12番講義室ほか

講師：理学部各学科の女子学生

参加人数：59名（女性59名、男性0名）

第2回目は、脇克志教授から「理学部の奥深さや楽しさに触れてみることで、皆さんの中に新たな何かが見つかるかもしれません。どうぞ今日のこの機会を、皆さんの今後の学びをきっかけにして欲しいと思います」という挨拶の後、高校生が希望のコースに分かれて講義や実験に参加した。「面積、体積について」「不思議なミクロの世界」「表計算から見るデータサイエンス」「メチルオレンジの合成とシクロデキストリンへの取り込み」「からだの微細なかたちを観察する」「本物の宝石と偽物との見分け方」など、各研究室が工夫を凝らした内容に、参加者は時には真剣な表情で、時には驚きの声をあげながら、楽しそうに取り組んでいた。



図5 生物学コースの講義を熱心に聞く学生の様子



図6 化学コースの実験に参加する学生の様子



## (2) 平成29年度ジェンダー関連基盤教育授業

教養セミナー「キャリア形成とワーク・ライフ・バランス（ウーマン・オブ・ヤマガタ）（山形から考える）」

### 1 テーマ

- (1) 男女が共に仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が保てる働き方について考え、自らのキャリア・ビジョンを描く。
- (2) 多方面で活躍する方々を招き、仕事と生活について経験に基づいた講義をもとに、男女共同参画社会について具体的に考える。
- (3) 21世紀日本の最重要課題となっている「男女共同参画社会」とはどのような社会で、どのような問題をどのように解決するのかについて考える。

### 2 講師一覧表

	月 日 (曜)	講師名	所属・プロフィール等
1	10月19日 (木) 14:40~16:10	池田 弘乃	学術研究院准教授（人文社会科学部）。ジェンダー・セクシャリティと法制度の関連について研究している。特にセクシャル・マイノリティをとりまく法制度に関心をもっている。
2	11月2日 (木) 14:40~16:10	井上 奈穂	学術研究院准教授（農学部）。専門は栄養化学、食品機能学。鹿児島大学大学院連合農学研究科で学位取得。順天堂大学医学部研究員、東北大学大学院農学研究科助教を経て現職。
3	11月9日 (木) 14:40~16:10	小川 雅子	学術研究院教授（地域教育文化学部）。専門は国語科教育。国語表現指導や古典教育を中心に研究。山形大学に赴任して約30年。現在は管理職として多忙さの中での仕事の仕方について学んでいる。
4	11月30日 (木) 14:40~16:10	JIPTNER Karolin	学術研究院助教（理工学研究科）。国際交流センターで仕事をしている。以前は、太陽電池用シリコンの研究者として研究所で働いていた。筑波大学で学位取得。ドイツ人。
5	12月7日 (木) 14:40~16:10	小倉 泰憲	学術研究院教授（理学部）。専門はカウンセリング心理学と音響工学。学生と教員を対象にキャリア支援を行っている。音大卒の妻のキャリアと一緒に考えてきた。
6	12月21日 (木) 14:40~16:10	山本 陽史	学術研究院教授（エンロールメント・マネジメント部）。日本文学（江戸時代から藤沢周平、井上ひさしなど現代文学まで）と日本文化論（日本人と「世間」との関係）を専攻。単身赴任・遠距離介護の経験者。
7	平成30年 1月18日 (木) 14:40~16:10	松浪 容子	学術研究院助教（医学系研究科）。看護学専攻臨床看護学講座所属。専門は成人看護学。山形大学で学位取得。附属病院看護師を経て現職。禁煙支援について研究している。
8	1月25日 (木) 14:40~16:10	武田 靖子	(株) ジョインセレモニー常務取締役。山形市出身。ブライダル等の仕事の他に、山形ウエディング協議会会長、やまがたイグメン共和国副大統領等を務める。

### 3 受講した学生の感想

- ・山形で活躍されている女性や男性の講義を聞いて、自分の価値観や視野が格段に広がったと思う。また、講義に質問することや内容をまとめるを通じ、これからの様々な場面で使

えるようなスキルを修得できたと思う。

- 様々な先生からキャリアや男女共同参画社会などの意見を伺い、それに対して自分自身も学びながら考えを持つというところまで成長できた。先生方のお話には共通するところがあり、自分に合ったワーク・ライフ・バランスかが大切だという点が特に参考になった。
- 「自分らしいライフスタイル」「未来よりも今を大事にする」「雑草と花の芽（個性）の見分け方」など、素晴らしい言葉にたくさん出会うことができた。先生方の人生観を聞いて、自分の人生観もどんどん成熟してきたように感じる。
- いろいろな先生の講義を聞くことができ、分かれ道での選択や自分らしさをどのように磨いていくかなど、これからの人生で役に立つお話ばかりだった。これらの講義を参考に大学生活や社会人生活に役立てて行きたいと思う。自分で司会進行などを担当してみて、どうやったら効率良く運営ができるかが身に付いたと思う。
- 今までの経験しない事を経験させてくれた授業だったし、自分の考え方を変えることができた。スマホで気になるニュースを見る程度だったが、新聞のメリットがわかった。
- 人それぞれに男女やWLBに関する考え方が異なることや、これから生きていく上で参考になる話を聞くことができ良かった。本当の学びとはこのようなことだと実感した。質疑応答などを通じて、新たな発見があることも知った。
- 多くの先生の講義を聞くことができ、視野が広がった。キャリアについて先生方それぞれの価値観に触れることができ、本当に楽しく勉強することができた。

## ②-4 | アウトリーチ活動・広報活動

### (1) 他機関との連携

機 関 等	連 携 内 容
外務省 (文部科学省)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際女性会議「WAWI2017」シャイン・ウィークス公式サイドイベントに登録 3機関合同シンポジウム「有機エレクトロニクスを活用した未来の生活創造への 女性研究者の参画」を開催 日時：平成29年12月4日(月) 13:15～16:30 <a href="https://www.facebook.com/events/285527695270516/">https://www.facebook.com/events/285527695270516/</a></li> </ul>
山形県 男女共同参画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>やまがた女性活躍応援連携協議会 日時：第1回 平成29年7月10日(月) (委員：井上コーディネーター) 日時：第2回 平成30年1月22日(月) (委員：井上コーディネーター)</li> </ul>
山形県 男女共同参画センター チェリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画運営委員会：(委員：井上コーディネーター) 日時：第1回 平成29年6月3日(土)、第2回 平成30年3月10日(土)</li> <li>チェリアフェスティバル実行委員会 日時：平成29年4月22日(土)、平成29年9月9日(土)</li> <li>チェリアフェスティバル山形2017～あなたと私 違いを力に変えていく～ 日時：平成29年10月15日(日) 内容：パネル展示「山形大学ワーク・ライフ・バランス実現への取組」 LGBT紹介ポスターの展示</li> </ul>
山形市 企画調整部 男女共同参画センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>山形市男女共同参画審議会(会長：井上コーディネーター) 日時：第1回 平成29年6月6日(火)、第2回 平成29年11月15日(水) 内容：平成28年度事業報告、平成29年度事業計画、進捗状況報告書</li> <li>男女共同参画に関する作品審査会 平成29年8月30日(水)</li> <li>男女共同参画に関する作品表彰式 平成29年10月29日(日)</li> </ul>
山形市 男女共同参画センター ファースト	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく学ぼう女性学(講師：小林コーディネーター) 日時：第1回 平成30年2月3日(土)、第2回 平成30年2月10日(土) 内容：第1回「わたしらしく生きる～ジブリとヒロイン～」、 第2回「戦闘アニメのヒーロー・ヒロイン像」</li> </ul>
長井市 地域づくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>長井市男女共同参画推進審議会(会長：井上コーディネーター) 日時：第1回 平成29年12月22日(金) 内容：講話(井上コーディネーター)、男女共同参画推進事業について</li> </ul>
大学コンソーシアム やまがた	<ul style="list-style-type: none"> <li>シンポジウムの共催 日時：平成29年12月4日(月) 内容：テーマ「有機エレクトロニクスを活用した未来の生活創造への女性研究者 の参画」</li> </ul>
おいたま女性クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>例会での講話(講師：小林コーディネーター) 日時：平成29年12月16日(土) 内容：テーマ「男女平等は実現できるのか～データから見る日本～」</li> </ul>

②-5 | 広報活動

【ニュースレター】

第21号 (2017年7月発行)



第22号 (2018年2月発行)



図1 ニュースレター

【ホームページ】

平成28年度にホームページをリニューアル（英語版も作成）し、活用している。



図2 リニューアルしたホームページ（英語版）

## 【パネル展での広報】

山形大学の男女参画の取り組みをパネル展示で紹介した。

### (1) 山形大学男女参画フェスタにおけるパネル展

日時・場所：＜小白川キャンパス＞ 6月21日（水）～6月30日（金）

＜米沢キャンパス＞ 7月7日（金）～7月14日（金）

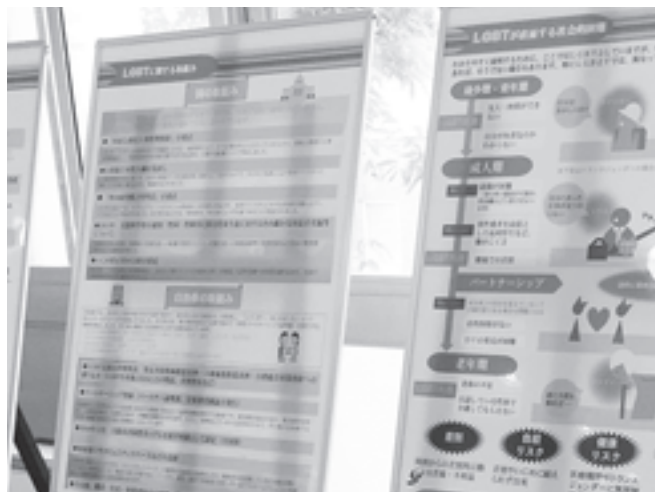


図3 展示されたLGBT紹介パネルの一部

### (2) 山形県男女共同参画センター チェリアフェスティバル2017

日時：平成29年10月15日（日）8：30～16：00（1週間継続展示）

場所：遊学館

テーマ：「あなたと私 違いを力に変えていく」



図4 チェリアフェスタでのパネル展示

## 【新聞等による報道】

本学と山形銀行が連携して設置・運営する「企業主導型保育所」の協定書調印式が行われ、新聞で大きく報じられた。

- ・山形新聞 平成29年11月9日（木）朝刊9面掲載（図5）
- ・日本経済新聞電子版 平成29年11月9日（木）Web掲載
- ・日本経済新聞地方版 平成29年11月10日（金）朝刊35面掲載  
テレビ番組でも県内ニュースとして同様の内容が取り上げられた。
- ・さくらんぼテレビ「みんなのニュース」平成29年11月8日（水）
- ・山形放送「news every.」 平成29年11月8日（水）



図5 山形新聞に掲載された記事（転載許諾済み）

## 【テレビ報道】

- ・YTSテレビ「提言の広場」  
平成29年8月19日（土）  
第2373回「女性管理職の登用と拡大」

生産年齢人口の減少や、女性活躍推進法の施行などで、女性がより活躍しやすい職場作りが進められているが、企業などでは、女性管理職の割合はまだ低い状況にある。企業のみならず様々な分野で、女性リーダーを増やしていくためにはどんな課題があり、どんな取り組みが必要なのかを語った。井上榮子准教授が番組に出演し、女性研究者の管理職登用と拡大について山形大学の取り組みを紹介した。



図6 テレビ出演する井上准教授（右から2番目）  
（YTSホームページより転載許諾済み）